

平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

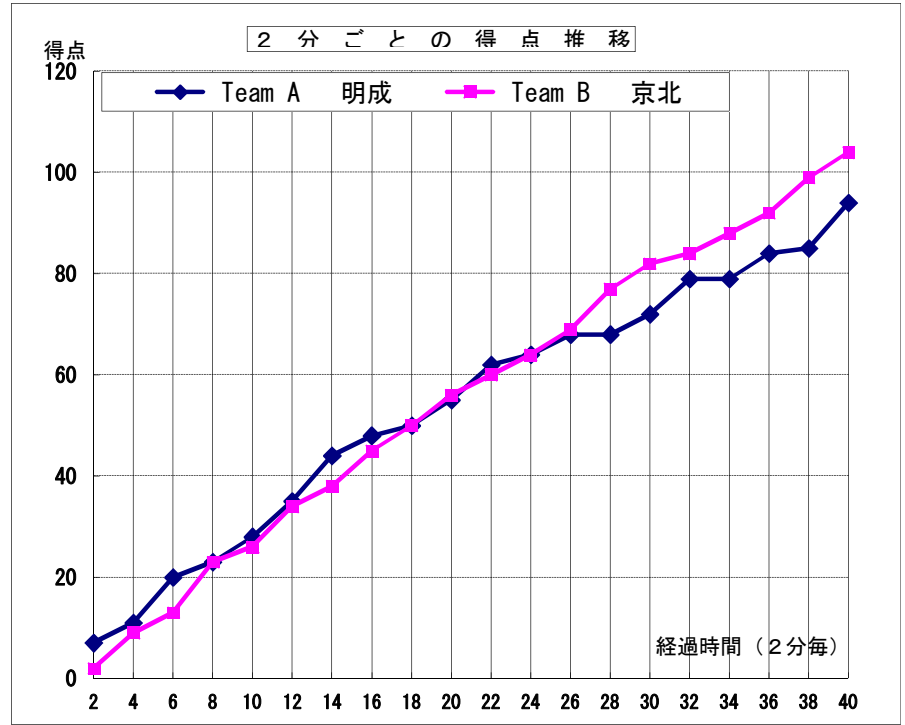
男子 準決勝

試合日	2013年8月2日
開始時間	13:00
会場	べっぴアリーナ
コート	M
試合順	1

Team A		Team B
明成	94	104
宮城県		東京都

Team A 明成																			
No.	S	選手名	PTS	3P		2P		FT		F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT	
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT						
4	◎	金子 大希	1	0	2	0	0	1	2	4	1	3	4	13	0	2	6	38:54	
5		阿部 元樹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	00:00	
6	◎	植村 哲也	17	1	3	7	10	0	0	3	1	0	1	1	0	0	2	24:59	
7		森川 文弥	5	0	0	2	3	1	2	2	2	0	2	0	0	0	1	12:03	
8		納見 悠仁	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	00:00	
9		築井 良知	2	0	0	1	1	0	0	2	0	3	3	1	0	2	0	14:50	
10	◎	白戸 大聖	29	5	18	7	20	0	0	3	1	5	6	2	2	1	4	40:00	
11	◎	宮本 滉希	13	0	0	5	9	3	3	5	3	5	8	1	0	1	1	27:18	
12		柳川 知之	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:17	
13		松本 健寛	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	1	0	0	1	04:04	
14	◎	八村 塁	27	0	0	13	23	1	4	3	7	13	20	0	1	4	2	37:35	
15		三上 侑希	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	00:00	
Team / Coach:	佐藤 久夫																		
合計			94	6	23	35	66	6	11	22	18	33	51	19	3	10	17	200	
			RATE	26.1%		53.0%		54.5%											

Team B 京北																			
No.	S	選手名	PTS	3P		2P		FT		F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT	
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT						
4	◎	石原 卓	16	1	4	6	11	1	1	1	0	8	8	6	4	0	2	40:00	
5	◎	新川 敬大	18	2	10	6	9	0	0	2	0	8	8	0	3	2	1	39:43	
6	◎	川久保 駿	26	1	4	6	8	11	13	3	2	1	3	1	4	1	2	36:24	
7	◎	吉川 治耀	24	3	3	7	15	1	3	2	2	7	9	1	2	0	2	40:00	
8		吉田 亙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	03:36	
9		平岩 アンソニーコリン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:17	
10	◎	浅見 陸人	20	0	0	6	17	8	10	2	4	4	8	4	1	2	2	39:20	
11		小森 敬輔	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	00:00	
12		小林 汰雅	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	00:00	
13		吉田 勇斗	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	00:00	
14		浅香 陽光	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	00:34	
15		盛満 拓郎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:06	
Team / Coach:	田渡 優																		
合計			104	7	21	31	60	21	27	11	19	32	51	12	14	5	10	200	
			RATE	33.3%		51.7%		77.8%											



タイムアウトは経過時間で表示しています

CTO	1・2P	3・4P	OT 1	OT 2	OT 3	OT 4
TeamA		26:20 33:53 37:35				
TeamB	2:21	32:56 38:11 39:54				

戦評

第1ピリオド、両チームともハーフコートマンツーマン。明成#10の3Pが開始早々決まり、その後#14が連続してリング下で得点。それに対して京北はシュートミスやターンオーバーがかさみ、2分21秒でたまたまタイムアウト。Offリズムが良くなった京北は#5が3Pを含む連続得点や#7のドライブで5分30秒には同点に追いつく。明成はDefリバウンドを確実に取り、#14、#11が立て続けにリング下シュートで突き放すが、京北#7の連続得点で追いつき第1ピリオドは28-26明成2点のリードで終了。第2ピリオド、明成は#10の3Pやドライブ、#11のOffリバウンドにより加点していき、京北は#4のコントロールOffや#6のDefからの速攻などでメンバー全員が得点を重ねていく。数点差の中での一進一退の攻防が続いた第2ピリオドは、56-55と京北が1点リードで終了。

第3ピリオド、明成は#14のリング下と#10の3P、京北は速攻から#10や#4のドライブで得点を重ねていく。明成#14のブロックシュートや京北#4のスティールなど互いに堅守が続くが、その中でも両チーム着実に得点を重ねていく。3分40秒チームファウルが4つとなったところで明成がタイムアウト。その後、京北はフリースローによる加点で徐々に点差を開き、トラップDefからのスティールによりさらに加点し82-72で第3ピリオド終了。第4ピリオド開始、明成が#6のジャンプシュート、#11のカウント1ショットなど怒濤の攻撃で一気に5点差まで詰め寄る。そこで京北は残り7分04、後半1回目のタイムアウト。その後、京北#4、#7のドライブで再び引き放し、今度は明成が2回目のタイムアウトを取る。明成は#6の3Pや#11のリング下シュートで追い上げるが、京北はDefからの速攻が功を奏して、レイアップやフリースローで着実に加点していく。明成も#6の連続レイアップで追い上げるが、最後は粘る明成を京北が振り切り104-94で勝利して、決勝戦へ進出した。

主審	吉橋 雅一	副審	岩木 太郎	戦評	齋藤 哲也
		副審	久米 克弥		